

三菱UFJ / ピムコ トータル・リターン・ファンド <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

追加型投信 / 内外 / 債券

作成対象期間：2023年9月9日～2024年9月9日

第 11 期 決算日：2024年9月9日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、世界（新興国を含みます。）の米ドル建てを中心とする投資適格債券等に実質的な投資を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第11期末 (2024年9月9日)

基準価額	15,988円
純資産総額	2,150百万円
騰落率	+5.6%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

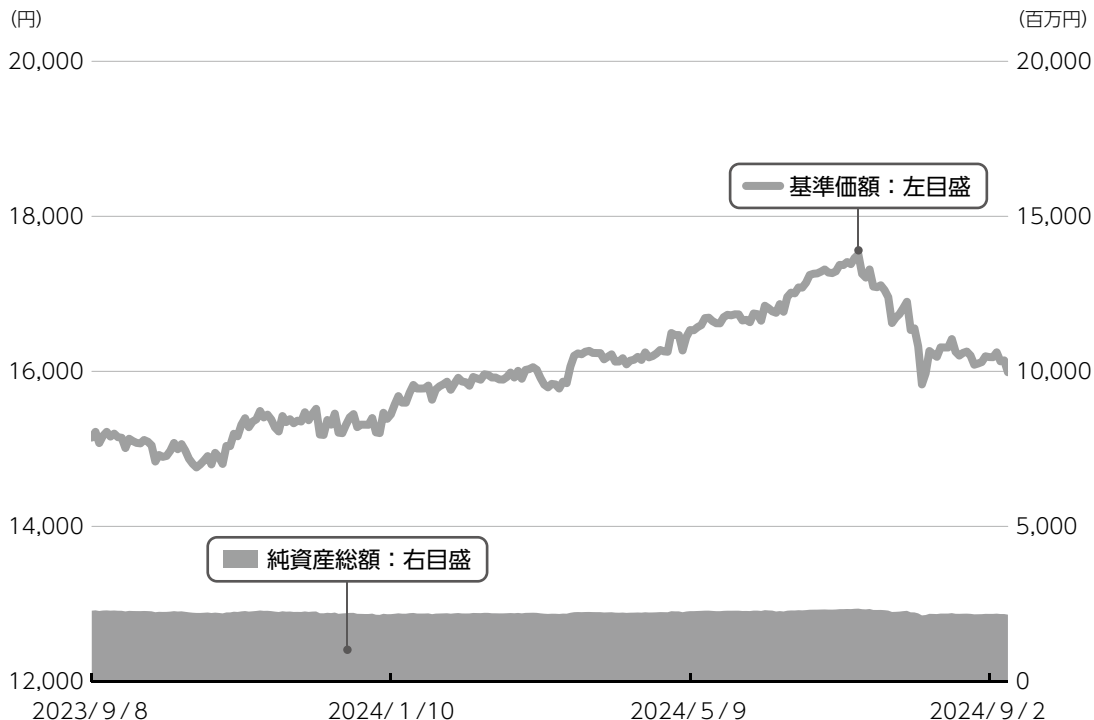
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第11期：2023年9月9日～2024年9月9日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第11期首	15,145円
第11期末	15,988円
既払分配金	0円
騰落率	5.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ5.6%の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国債券市況が上昇したことがプラスとなりました。

下落要因

米ドルが対円で下落したことがマイナスとなりました。
信託報酬がマイナスとなりました。

2023年9月9日～2024年9月9日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	247	1.542	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(136)	(0.848)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(106)	(0.661)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	247	1.545	

期中の平均基準価額は、15,986円です。

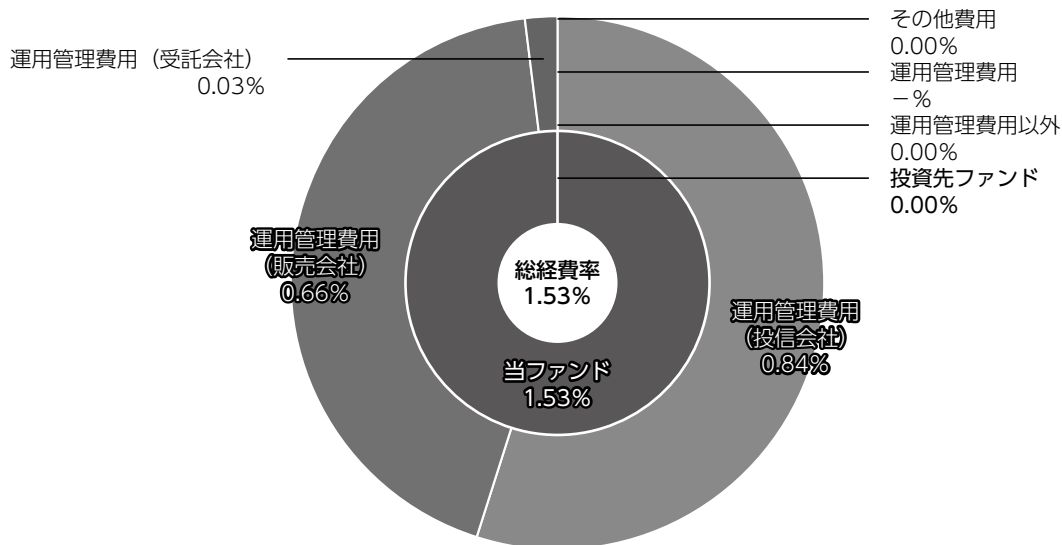
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.53%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.53
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.53
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	-
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.00

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2019年9月9日～2024年9月9日

最近5年間の基準価額等の推移について



最近5年間の年間騰落率

	2019/9/9 期初	2020/9/8 決算日	2021/9/8 決算日	2022/9/8 決算日	2023/9/8 決算日	2024/9/9 決算日
基準価額 (円)	12,439	13,052	13,448	15,177	15,145	15,988
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	4.9	3.0	12.9	-0.2	5.6
純資産総額 (百万円)	2,717	2,470	2,321	2,384	2,278	2,150

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第11期：2023年9月9日～2024年9月9日

▶ 投資環境について

▶ 債券市況

米国債券市況は上昇しました。

期間の初めから2023年10月末にかけては米連邦準備制度理事会（F R B）による金融引き締め政策が長期化すると観測から米国債券市況は下落しました。その後2023年末にかけて、インフレの落ち着きや一部市場予想を下回る米経済指標等を背景にF R Bによる早期利下げ観測などから米国債券市況は底堅く推移しました。その後は米国のインフレの高止まりやF R Bの利下げ先送り観測などを背景に米国債券市況は上値の重い場面があったものの、2024年7月以降はインフレの落ち着きに伴う利下げ観測の高まり等から上昇し、期間を通してみると上昇しました。

▶ 為替市況

米ドルは対円で下落しました。

期間の初めから2023年10月末頃にかけては金融引き締め政策の長期化観測から米ドルは円に対して底堅く推移しました。その後、12月末にかけては、米国の早期利下げ観測などを背景に米ドルが円に対して下落する局面がありました。2024年初から7月上旬にかけては、高止まりするインフレなどを背景に日米の金融政策の方向性の乖離等が意識され、米ドルが

円に対して上昇しました。その後、インフレの鈍化などが意識され、米連邦準備制度理事会（F R B）による利下げ観測が強まったことや日銀が政策金利の引き上げに前向きな姿勢を示したこと等から米ドルは対円で下落に転じ、期間を通じてみると米ドルは対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、日銀による利上げを受け、期間末にはプラス圏となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UF J / ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)

主として円建ての外国投資信託であるピムコ・トータル・リターン・ファンドⅡ - クラスJ (JPY) の投資信託証券への投資を通じて、世界 (新興国を含みます。) の米ドル建てを中心とする投資適格債券等を高位に組み入れました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

なお、2024年8月末時点で、円建ての外国投資信託を通じて投資した信用リスク管理上、政府機関の発行または保証する有価証券と同等と判断した銘柄の実質的な組入比率は、ファニーメイは30.3%、フレディ・マックは20.4%としました。
(ネットベース)

▶ ピムコ・トータル・リターン・ファンドⅡ - クラスJ (JPY)

金利戦略およびセクター配分戦略

期間の初めから2023年10月末頃にかけては概ね期間を通じて、ファンド全体のデュレーション (平均回収期間や金利感応度) を市場平均対比で長めとしました。その後はファンド全体のデュレーションを概ね短めに変更しました。2024年4月末にかけて一時的に市場平均対比で若干

長めとする局面があったものの、一部の期間を除いた期間で概ねファンド全体のデュレーションを市場平均対比で短めとしました。

債券セクターでは、リスクセンチメントの改善等を背景に上昇したエマージング債券の保有等がプラスとなりました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド コール・ローン等短期金融商品を活用し、 利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第11期 2023年9月9日～2024年9月9日
当期分配金 (対基準価額比率)	- (-%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	6,509

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ／ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)

運用の基本方針にしたがって、引き続き円建て外国投資信託への投資を通じて米ドル建てを中心とする投資適格債券等を高位に組み入れた運用を行うほか、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、決算時に分配金額を決定します。

▶ ピムコ・トータル・リターン・ファンドⅡ - クラスJ (JPY)

世界経済については、米国を除いて多くの先進国で景気が停滞傾向となった一方で、米国については、一部では米景気の後退を織り込む動きもみられるものの、PIMCO社では2024年末にかけては緩やかな景気減速に留まるとみています。金融政策については、欧州中央銀行 (ECB) やイングランド銀行 (BOE) は既に利下げを開始しており、米連邦準備制度理事会 (FRB) についても2024年9月に利下げを開始するとみています。デュレーション (平均回収期間や金利感応度) は市場平均対比で短めとしていますが、状況に応じて柔軟にコントロールします。

社債については市場全体に対しては中立姿勢とし、金融社債等を中心に選択的な

保有を継続するほか、バリュエーション面で妙味のある政府系モーゲージ債や非政府系モーゲージ債等については組み入れを継続する方針です。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は低位安定した推移を想定していません。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UF J アセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)

▶ その他

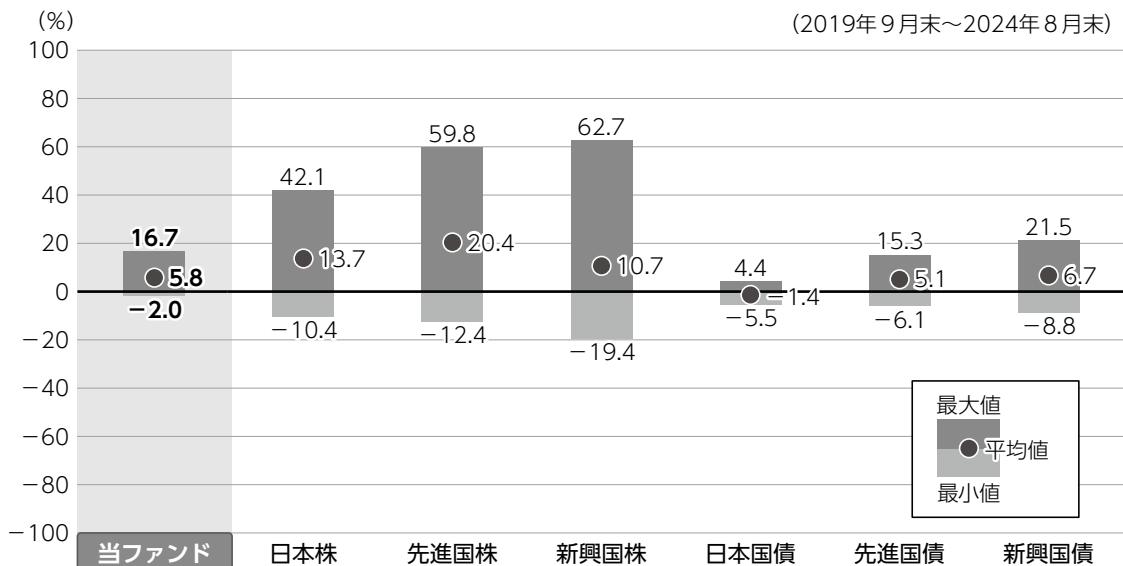
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2028年9月8日まで (2013年10月25日設定)
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるピムコ・トータル・リターン・ファンドⅡ - クラスJ (JPY) の投資信託証券への投資を通じて、世界 (新興国を含みます。) の米ドル建てを中心とする投資適格債券等を実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。投資信託証券への運用の指図に関する権限は、ピムコジャパンリミテッドに委託します。実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>ピムコ・トータル・リターン・ファンドⅡ - クラスJ (JPY) およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ピムコ・トータル・リターン・ファンドⅡ - クラスJ (JPY)</p> <p>ピムコ・トータル・リターン・ストラテジー・ファンドへの投資を通じて、様々な償還期限の債券等を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド</p> <p>わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	世界 (新興国を含みます。) の米ドル建てを中心とする投資適格債券等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)</p> </div>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2019年9月から2024年8月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversifund

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2024年9月9日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第11期末 2024年9月9日
ピムコ・トータル・リターン・ファンドⅡ - クラスJ (JPY)	98.7%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.1%

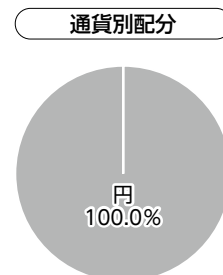
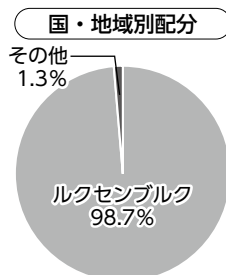
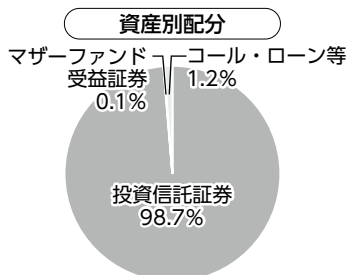
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

純資産等

項目	第11期末 2024年9月9日
純資産総額 (円)	2,150,058,395
受益権口数 (口)	1,344,803,134
1万口当たり基準価額 (円)	15,988

※当期中において追加設定元本は80,019,983円
同解約元本は 239,931,669円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2023年5月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ピムコ・トータル・リターン・ファンドⅡ - クラスJ (JPY)

基準価額の推移

2022年5月31日～2023年5月31日
(円)



基準価額の推移以外の開示情報につきましては、各通貨毎のクラス分けされたものがないため、「ピムコ・トータル・リターン・ストラテジー・ファンド」ベースで表示しています。

1万口当たりの費用明細

2022年6月1日～2023年5月31日
1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示はできません。

▶ ピムコ・トータル・リターン・ストラテジー・ファンド

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：333銘柄)

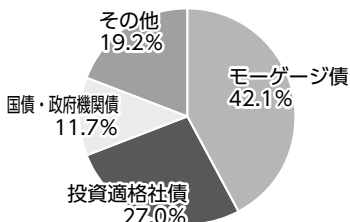
銘柄	国・地域	業種/種別	比率(%)
1 FNMA TBA 3.5% JUL 30YR	アメリカ	モーゲージ証券等	7.7
2 FNMA TBA 3.0% JUN 30YR	アメリカ	モーゲージ証券等	6.7
3 FNMA TBA 5.5% JUL 30YR	アメリカ	モーゲージ証券等	5.3
4 FNMA TBA 3.0% JUL 30YR	アメリカ	モーゲージ証券等	5.0
5 FNMA PASS THRU 30YR #5D8329	アメリカ	モーゲージ証券等	4.8
6 FNMA TBA 4.0% JUL 30YR	アメリカ	モーゲージ証券等	4.5
7 U S TREASURY BOND	アメリカ	国債・政府機関債	3.2
8 U S TREASURY NOTE	アメリカ	国債・政府機関債	3.1
9 FNMA TBA 4.5% JUL 30YR	アメリカ	モーゲージ証券等	2.3
10 U S TREASURY BOND	アメリカ	国債・政府機関債	1.9

※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。

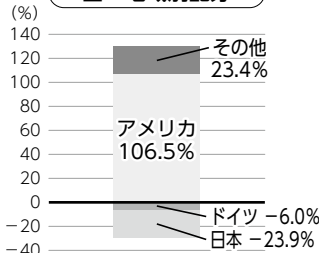
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

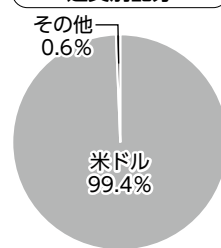
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
※派生商品については、「国債・政府機関債」に含めて表示しています。
※国・地域別配分、通貨別配分は派生商品も含めて表示しています。

968469

2024年5月20日現在

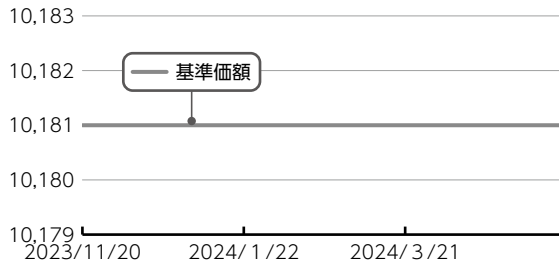
組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2023年11月20日～2024年5月20日

(円)



1万口当たりの費用明細

2023年11月21日～2024年5月20日

当期において費用が発生していないため、費用明細は作成していません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：2銘柄)

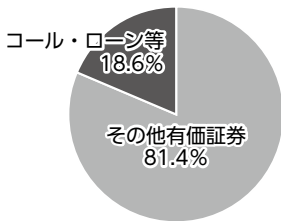
順位	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	マルベニ 240521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	74.0
2	コスモエネHD 240521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	7.4
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

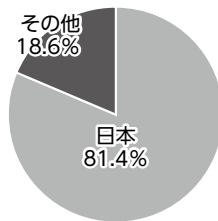
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

種別構成等

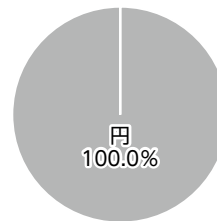
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● J P モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

J P モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント